

魅力あふれる 中部大学にしよじー!



学長 山下 興亜

学生の皆さん私は中部大学を、もと

***元氣な若者を育てる大学**

***学生の皆さんが誇れる大学**

***地域に頼られる大学**

にしたいと考えています。

それを実現するための教育の重点目標として、中部大学は、今後5年間を目安として、『魅力ある授業づくり』に真剣に取り組んでいます。

今年度から学生の皆さんと教員による、『魅力ある授業づくり』の1環として、Webを利用した『授業評価システム』を導入しました。現在、春学期の授業評価を終え、その結果も明らかになってきています。

学生による授業評価の平均回答率は14・2%、寄せられた自由記述は1685件、また教員による授業自己評価の平均回答率は49・6%でした。

下のグラフは学科別の回答率を示しており、学生の回答率と教員の回答率との間に高い相関関係のあることが分かります。また、『魅力ある授業づくり』に対する学科の熱意度の違いも明確であり、これは放置すべきものではありません。さらに、詳細は省きますが、授業評価の各設問項目の意図・理解度に、学生と教員との間に認識の差が存在することも明確になりました。

いずれにしても、貴重な意見を記した自由記述の内容も含め詳しく分析中ですが、大学として早急に改善、改革しなければならぬ課題を明確にし、授業改善を中心とした大学教育改革に取り組み必要性を再確認しました。

ご協力いただいた皆さんに感謝し、学長として新たな責任を感じています。秋学期の授業評価でも、より多くの声を聞かせていただき、『魅力ある授業づくり』にもさらに真剣に取り組み、魅力あふれる中部大学を学生の皆さんと教員で共に建設してまいります。

学生授業評価・教員授業自己評価回答率

